

高砂市子ども・子育て会議 会議録

1	会議名	平成28年度 第1回高砂市子ども・子育て会議
2	開催日時	平成28年 7月 26日(火) 18時00分～19時50分
3	開催場所	高砂市役所 南庁舎 5階大会議室
4	出席者	<p><委員> 高砂市子ども・子育て会議 委員13名</p> <p><事務局> 副市長、教育長、福祉部長、健康文化部長、教育部長、子育て支援室長、学校教育室長、未来戦略推進室長、健康市民室長、教育推進室長、子育て支援室主幹(こども育成担当)、子育て支援室主幹(子育て支援担当)学務課長、未来戦略推進室主幹教育総務課長、学校教育課長、障がい・地域福祉課長、学校教育副課長、子育て支援室副課長 他</p>
5	傍聴人数	12名
6	議 題	<p>(1) 教育・保育施設の利用状況について</p> <p>(2) 幼保連携型認定こども園の現状報告について</p> <p>(3) 利用者負担額(保育料)について</p> <p>(4) 3歳児教育について</p> <p>(5) 平成27年度教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の取り組み状況について</p> <p>(6) 子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況及び平成28年度の取組み・方向性について</p> <p>(7) 子どもの貧困対策(子どもの食生活に関するアンケート)について</p> <p>(8) その他</p>
7	配布資料	<p><事前配布> 平成28年度第1回高砂市子ども・子育て会議 次第</p> <p>高砂市子ども・子育て会議委員名簿</p> <p>高砂市子ども・子育て会議 配席図</p> <p>教育・保育施設の利用状況について(資料1)</p> <p>幼保連携型認定こども園の現状報告について(資料2)</p> <p>利用者負担額(保育料)について(資料3)</p> <p>3歳児教育について(資料4)</p> <p>平成27年度教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の取り組み状況について(資料5)</p> <p>子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況及び平成28年度の取組み・方向性について(資料6別冊)</p> <p>子どもの食生活に関するアンケート(資料7)</p> <p>高砂市特定教育・保育施設一覧表(参考資料1)</p> <p>2号、3号認定子どもの利用者負担額(保育料)(参考資料2)</p> <p><当日配布> 就学前児童の就園状況(参考資料3)</p>

事務局	<p>開会（18：20）</p> <p>議題（1）教育・保育施設の利用状況について</p> <p>議題（2）幼保連携型認定こども園の現状報告について</p> <p>議題（3）利用者負担額（保育料）について</p> <p>資料1～3、参考資料1～3を説明</p> <p>質疑応答なし。</p>
事務局 委員	<p>議題（4）3歳児教育について</p> <p>資料4を説明</p> <p>保護者の立場から3歳児教育を行ってほしいと考えているが、住んでいる地域に実施施設がない場合、園区を越えて預けることになるのか。</p> <p>そのような場合、4歳になったとき、地域の園区に戻るのか。できればそのまま進級させてあげたいと考えている。そのため、実施しない地域にも3歳児教育を広げてほしい。</p>
事務局 委員長	<p>園区を越えて実施することになるが、進級する場合、そのまま残るのか、地域の園区に戻るのか検討したい。</p> <p>今後の検討課題とする。</p>
事務局 委員	<p>議題（5）平成27年度教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の取り組み状況について</p> <p>議題（6）子ども・子育て支援事業計画の平成27年度実施状況及び平成28年度の取組み・方向性について</p> <p>資料5・6を説明</p> <p>資料5（7ページ）乳児家庭全戸訪問について、訪問を拒否した家庭があるとのことだが、どういう理由か。</p>
事務局 委員	<p>2人目だからもうしなくてよいという家庭や、里帰り出産のため拒否した家庭が多い。</p> <p>資料5（3ページ）学童保育所について、荒井小学校が一杯だが、今後の場所確保の方策を聞きたい。</p>
事務局 委員	<p>学校の空き教室を利用することはできないため、今後は近隣の施設を借りるなど考えていかなければならない。</p> <p>資料6（5ページ）の小・中学校就学援助制度について、就学援助を利用した数が提示されているが、その数が貧困世帯の数と認識してよいか。</p>
事務局 委員	<p>その数について、提示している通り就学困難児であると考えてよい。</p> <p>乳児保健相談から1歳6か月健診までの間が長いので、もう1回健診を増やす方向で考えられないか。</p>
事務局 委員	<p>まだ決定していないが、平成29年度から保健師を増員して、乳児から1歳6か月健診の間に、10か月検診を実施する方向で検討している。</p> <p>資料6（10ページ）の不登校対策の充実について、スクールソーシャルワーカーの導入を考えているか。</p>
事務局	<p>県のソーシャルワーカーを利用したことがあり、今後導入するか検討していきたい。</p>

委員	資料6（16ページ）の女性の再就職支援事業の推進について、こども園や幼稚園に就職情報の提供をしてはどうか。
事務局	検討していきたい。
委員	資料6（13ページ）の遊び場の充実について、ボール遊びができる公園がない。整備してほしい。
事務局	耕作していない農地を利用して、公園にできないか検討中である。各地区に造っていくことを考えている。
委員	学校保健会について、公立幼稚園が現状入っているが、保育園・こども園についてはどうしていくのか。学校保健会を拡大するのか、それとも別組織を作って、連携を図るのか。就学前の組織があつて相談していく場があつてもよいのではないか。
事務局	現状のままで考えているが、保育園・こども園の保護者も学校保健会への参加は可能としたい。また、学校保健会の情報も発信したいと考えている。
事務局	議題（7）子どもの貧困対策（子どもの食生活に関するアンケート）について 資料7を説明
委員	不登校の家庭の食について、危機的な状況になっている場合がある。不登校の生徒へ対しては、アンケートは行ったのか。
事務局	アンケートは各学校にお願いしているが、不登校の生徒について、特段回収するようにはお願いはしていない。
委員	不登校の生徒についても、どこかでアンケートを取れたらよいと考える。
事務局	検討する。
	議題（8）その他 質疑応答なし。
	閉会（19:50）